「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材(N0.3)
に係る意見交換会の実施状況について

「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材(N0.3)に係る意見交換会の
実施状況について、下記のとおりまとめたので、報告する。

記

1. 区民意見交換会の実施状況について

(1) 開催回数	全16回
(2) 参加者数	317人
(3) 会場	全地域センター、商工会館
(4) 主な意見・質問	別紙のとおり

「基本構想・新しい中野をつくる10か年計画」検討素材(N0.3)に関する主な意見・質問

基本構想等全般について

意見・質問	区の回答・見解
計画の見直しはどのようにするのか。	10か年計画については、前期5か年を実施計画とし、後期5か年を展望計画とし、5年をめどに見直しすることを想定している。
今なぜ、このような基本構想が必要なのか。	これまでのしくみ、あり方、財政運営のあり方では、区がやってきたサービスの質、量を確保できなくなってきている。持続可能な地域社会を考えると、あり方、しくみを変えていかなければなら
区長が変われば、この基本構想もその区長の方針により変わる事になる。区の財源の裏づけなど、計画の実現の可能性はどうなっているのか。	基本構想の策定は議会の議決が必要であり、区長の意思だけで勝手に変えることはできない。すべての事業について、財政をしっかりと見極めながら、決めていかなければならないと考えてい
基本構想の構成案で「中野」を「杉並」や「世田谷」と読み替えても、差し支えがあるように思えない。中野区の特徴が見えない。	中野を愛する気持ち、そして中野らしさということをきちんと表現しなければと思っている。
財政が逼迫しているのであれば、10年で職員を何人減らすとか、給与水準をどうするとかいったことが記載されて然るべきだと思う。	職員数の減等については、現2,700人の職員を2,000人程度まで減らすことを考えている。10か年計画の中でお示しする。
基本構想・計画をどう維持させ今後、区政運営するのか。	区政が何を目指し将来何を作っていくかで大事なことは、区民参加で基本構想をつくること。区民が思いを共有し、区民の意思で、議会で議決していただき、10年でどれだけ実現するか、年次的に達成、検証し、実施していく。

前文、中野のまちの基本理念について

意見・質問	区の回答・見解
区民憲章に「区民は～」と5つ並んでいるのはなぜか。	私たちという言葉は、30万区民が持っている言葉として使っている。区民と区が別々にあるのではなく、区民と区が一体となっている。
区民全体の契約ということについては、区民一人ひとりの共通の目標とすればいいのではないか。	一緒になって目標に向かっていくという内容を表わした。区民一人ひとりの共通目標としてならば分かるということだが、まさにそのような意味である。最終的には、区議会の議決を経ることにより、ある意味で、区民全体の契約と言っていいのではないかと考えている。
区民が共有する理念の3番目で、「平和な世界を築き」の前に「戦争のない」を入れてほしい。	意見として受け止めたい。「戦争」に対して区民としてどう関われるのか、区の中で実現できるのかを考える必要がある。

中野のまちの将来像について
〔持続可能な活力あるまちづくり〕

意見・質問	区の回答・見解
地球温暖化が住みにくくしているのではないかと。区としては限界があるのかもしれないが、何とかしなくてはいけないのではないかと。	地球環境については、区民憲章では述べているが、具体策がないというのはそのとおり。やることも限られるかもしれないが、どのような方法がいいのか考えていきたい。
全体的に理想論という印象を受ける。中野駅周辺はどうしていききたいのか。	警察大学校跡地を中心にブロックに分けて検討している。各地区で事業展開は違うが、にぎわいの中心、みどりのオープンスペースなど調和のとれた開発にしていきたい。
他自治体においては、駅周辺のバリアフリー構想を既に打ち出しているところもある。駅周辺の開発について、バリアフリーを進めてほしい。10か年計画にでもはっきりと示し	バリアフリーは大事な課題であると考えている。開発にあたり、鉄道やバスなど関連する事業者と一体となって、実現できるように努めていきたい。
若い人が住み続けられるという見地から、何か取り組みを考えているか。	お子さんを安心して育てる環境づくりとして、保育サービスの充実や経済的不安の解消がある。経済的不安解消の大きな要素が住宅。構成案でもふれているが、民間の優良な住宅を、たとえば区の土地を活用して誘導するような手立てを検討して
警大跡地を広場としてそのまま残すべき。そのほうが緑被率・緑地率を高められる。	都市としての魅力と、環境やみどりの充実について、十分に配慮して進めたい。この一帯については、今後とも広域避難場所としての機能も高めて
他から大きな企業が入ってきたら地元の商店の活性化はできるのか。	新たな産業の呼び込みや駅周辺整備を契機として、まちづくり全体の活力をあげる。

〔自立してともに成長する人づくり〕

意見・質問	区の回答・見解
特色あるまちづくりで、芸術・文化振興についてもっと具体的にすべき。地域スポーツも大事だが、文化会館を地域に一つ作ってほしい。	行政が文化とって何ができるのか、明らかにすることはなかなか難しいが、今後も検討したい。
子どもたちの放課後について、遊ぶことだけが強調されているが、勉強できる環境をつくる必要がある。小・中学生の多くは、塾に行っている。夕食も親子でとれなくなり、それが犯罪につながっている。学校できちんと勉強させて、こういった環	ゆとり教育がいいか悪いかは議論のあるところ。基礎学力の習得をしっかりと進めていく必要があると考えている。習熟度別学習など多様な方法で基礎学力の習得に努めていきたい。ただ、小学生は遊びが大事と考えている。今はそれが欠けていると思う。遊びを通じて色々な事を学んでほしい。

<p>出生率を増やすことが大切。これから結婚しようとする人への施策は？</p>	<p>国をあげて税の軽減や児童手当の充実などの取り組みを進めている。それにあわせて保育サービスの充実、子育て支援などを自治体が行う。現在、次世代育成支援のための5か年計画を策定中である。結婚を促進するというより、子どもを安心して育てられる環境づくりを考えているところであ</p>
---	---

〔支えあい安心して暮らせるまち〕

意見・質問	区への回答・見解
<p>構成案の7ページにある将来像「高齢者、障害者をはじめ サービスを自らの意思により選択して」を実現するための、具体的取り組みが曖昧である。支援費制度が始まったが、今は障害者が選べるほどのサービスがない状況。さまざまな担い手がサービスを展開するのはすばらしいことだが、障害者については、国や自治体が責任をもつべきだ。とくに知的障害児は増えているので、手立てが必要だ。</p>	<p>社会福祉基礎構造改革により、福祉サービスは措置から契約へと変わってきた。その中で、さまざまな担い手の参入をめざし、行政は、8ページにあるような「保健福祉・医療など人的なサービスがさまざまな担い手によって提供される市場の構築や育成、サービスの質の確保、利用者保護などの役割を区が担い、多くの担い手による多様なサービス提供を実現することで、利用者が自身にあったサービスを主体的に選べる環境になっている」ことをめざす。そのために担い手の育成やサービスの第三者評価、利用者保護のための権利擁護センターなどの取り組みを進めている。サービス量の確保として、区が土地を提供して建物や職員は民間で担う、いわゆる「第三生実」の整備や、PFIを活用した江古田の森保健福祉施設整備などを考えている。資料の取り組み例について</p>
<p>自治体の大きな課題として介護保険の問題があるが、基盤整備が不十分である。特養に申し込んでいる要介護度5の身内がいるが、未だに入れない状態にある。10年後の姿に何も書かれていないが、どうするつも</p>	<p>資料2のP.4に取り組みの例として、特別養護老人ホームの整備誘導を上げている。具体的には江古田の森整備で特養100床、老健施設100床を整備する。その他にも、区の土地を提供するなど民間施設の誘導を図っていきたい。</p>
<p>多様なサービスといっても結局有料ではないか。公助はどうなるのか。切り捨てではないか。</p>	<p>行政が提供するサービスももとは税金としてみなさんが負担している。限られた税をいかに生かすかという方法のひとつが、「民間でできることは民間で」ということ。区は、サービスの確保に努めていくことで責任を果たす。</p>

〔区民が発想し区民が選択する新しい自治〕

意見・質問	区の回答・見解
小さな区役所というが、10年後の区役所はどうなるのか、職員、財政など数字で示してほしい。	10年後の職員数は2000人程度としたい。財政見通しは、三位一体改革や都区財調制度の改革によって大きく変わってくる。それらがはっきりした段階で示したい。
区民と区政が一緒というのは違うのではないか。区の職員にやってほしいことはある。公務員の役割を認識してほしい。区民と行政の役割分担はあるのではないか。	条件整備とか、権利を守るとか、公でなければできないことや、国や都と連携をしていくことなど、区政で担っていく。
基本構想では町会、自治会は期待されているが、NPOや住区協議は評価されていない。	NPOについては、期待や思いをこめている記述をしている。住区協議会を評価していないわけではない。自主団体として、存在意義があり、これからも期待していく。

おもな「ものさし」の候補について

意見・質問	区の回答・見解
指標については、10年後をめざすのならば、今ある指標ばかりでなく新しい指標も入れるべきではない	新しい指標についても検討していきたい。
都市計画マスタープランでも誘導居住水準というのは出てこなかったと思うが。	誘導居住水準とは、「望ましい広さ」ということである。例えば、4人家族で戸建て住宅の場合、居住室面積が77㎡という国の基準があり、10年後にめざすべき数値はどの程度が妥当か、ということを検討した上でお示ししたい。
計画には何をいつまでにどれくらいやるのかといった指標を示してほしい	計画のなかで指標をしっかりと示していく。

新しい中野をつくる10か年計画検討案について

意見・質問	区の回答・見解
<p>コンビニでいろいろな手続きが出来るというが、プライバシー保護の観点からいってとんでもない。そういったことは、区職員がするべきだ。</p>	<p>コンビニでの証明などの受け取りは、中身は厳重に封をし店員には見えないようにする。さらに、受取人の本人確認もきちんと行うなど扱いについて検討している。また、中野区は若年層の一人世帯が多いことから、24時間対応できるコンビニの利便性を活用していきたい。</p>
<p>10か年計画の優先順位を区民にわかりやすく提示してほしい。</p>	<p>計画の優先順位については、前期5年を実施計画として各年次の事業を示し、後期5年は推進計画として年次を示さないものとする考えである。優先するものは前期にいれたい。</p>
<p>充実する計画が多くあるが、これを全部実施すれば莫大なお金が必要となる。夢を描いても何にもならない。収入を増やす手段は考えている民間委託してどれだけ節減できるのか、区民に明らかにすべき。民間は、利益をあげなくてはならないので、結局は区民サービスが低下することになるのではないか。</p>	<p>区の財政は厳しい状況にあり、実現可能性を考慮して今後検討していきたい。収入を増やす手段についても考えていきたい。</p> <p>行政は、最小の経費で最大の効果をあげなければならない。現実に図書館の委託では開館日をふやしたり、サービスの向上を行うことができた。年間約3億円経費が節約できた。</p>
<p>高齢者施設の充実というのはどの程度のことを考えているのか。</p>	<p>基盤作りにはさまざまなものがあり、100%充足するものもあればそうでないものもある。なお、介護保険事業計画の中では、需要と供給の見通しを示している。</p>

施設配置の新しい展開について

〔新たな小・中学校〕

意見・質問	区の回答・見解
学校再編については具体的な学校名を聞きたい。	学校再編については、検討中である。計画がかたまり、財政状況の見通しが出来たら出していきたい。
学級編成ができないような姿はよくないので、学校の統廃合は賛成である。幼稚園と小学校、小学校と中学校といった連携はできないか。	学校の適正規模は確保していきたい。通学路を考えれば、幹線道路をまたぐのはできれば避けたいと考えている。小中一貫校については国でも考えているが、これからの研究課題と認識している。
小・中学校の統廃合にあたっては、避難所、防災の事も考えて進めてほしい	再編については教育委員会がおこなうが、防災の事も含めて総合的に検討している。
学校の統廃合はもっとスピードアップして進めてほしい	学校の統廃合は避けて通れない。さまざまな事情があるので難しいが、すぐにやらなければならないところについては、早急に行なう。
子どもの数が減ったから統廃合というのではなく、中野はこういう教育を目指すから統廃合するというようにしてほしい。特色ある教育をすることによって人も集まってくるので、人の呼べる中野区を目指してほしい。小学校を統廃合すると通学の距離も伸びる。安全性も考えてほしい	子どもの数が減ったから学校を統廃合するというだけではないというのはそのとおり。大人になったとき自信を持って生きていけるように学校が目標やビジョンを示す。学校も説明していかなければならない。通学区域も安全を考えながらやっていきたい。
小学校の統廃合にあたっては、低学年の安全面に十分配慮してほしい。	適正な集団規模で教育を受けることが、子どもたちにとって大事であると思っている。よりよい教育を受けるための環境整備をしていく。もちろん小学校低学年の登・下校時の安全面についても考慮して検討をしている。

〔新しい子ども施設〕

意見・質問	区の回答・見解
小学校に学童クラブを入れるということだが、1つの小学校に1つの学童クラブか。	1小学校に1つの学童クラブと考えている。
児童館で行っている乳幼児、小学生、中学生という繋がりをどう考えているのか。	乳幼児には専門的な対応が必要であるし、中学生には中学生らしい活動に伝えていく施設が必要であると考えている。
地域には多様性があり人材も多いはず。保育士や先生のみならず、ボランティアなどに任せる等もっと大きな流れで考えてほしい。	児童館の遊び場機能を新しい学校に入れていきたい。学校内学童クラブも安全面から保護者のニーズが高い。学校を地域、児童館との結節点としたい。児童館事業の運営については、地域やNPOなどの人材も活用していきたい。

〔（仮称）区民活動センター〕

意見・質問	区の回答・見解
区民活動センターの運営主体の準備期間の2年間というのは十分だと考えているのか。区民が理解して実施するには時間がかかる。	区民活動センターの担い手については、どうしていけるかをみなさんと一緒に考えていきたい。地域の中で支えあうということをどうしたらできるのかを含め何ができるのか考えていきたい。
現在は、地域センターの職員に協力してもらいながら町会や住区の活動をしているが、区民活動センターとなり区の職員がいなくなると、区への橋渡しがなくなり住区の活動も変えていかなければならない。どのよ	区民活動センターは地域団体等で構成される運営委員会に委託し、その中で町会や住区の活動を支援するスタッフを雇用できるようにしたいと考えている。また、区民活動センターには常駐しないが、区の職員が、区との連携や情報提供などについて支援できるようにしたいと考えている。
区民活動センターの運営は、地域団体で構成される運営委員会に委託するとの事だが、団体に所属していない個人は参加できないのか。	管理・運営を委託する以上、運営組織をしっかりとしたものにしなければいけない。組織のしっかりした複数の団体を想定しているが、個人の参加や意見をどうやって受け止めていくかについても、地域の団体と協議しながら、決めていきたいと思

〔図書館〕

意見・質問	区の回答・見解
図書館はどうなるのか。	他区と比べて、中央図書館以外の図書館は規模が小さい。ゆとりのある空間としての図書館をつくりたい。財政的な問題もあり、全ての図書館をゆとりある施設へ変えることはできないため、数は減っても、ゆとりのある図書館、数より質の高い図書館をつくっていくべきだと考えている。
学校図書館と地域図書館が連携できるのかどうか疑問がある。蔵書にしても学校図書館は充実していない。機能もそれぞれ違うのではないか。	学校図書館について、一般の図書館と同じようにしようというのではない。学校図書館を地域で利用できないかと考えている。たとえば、子育ての本を置き地域でみんなが考えとか、就学前のお子さんを対象とした本を置き、ブックスタートとしてもよい。また、図書館のサービスポイントとして位置づけてもよい。地域の知の拠点となれば
地域館は特色ある蔵書収集を行うとあるが、地域館はその地域の人のためにサービスを提供するものであり、特色の部分は中央館で行って欲	特色ある図書館は、専門館にするのではなく、一般の図書他に特色ある蔵書を収集するものである。

〔保育園・幼稚園〕

意見・質問	区の回答・見解
<p>保育園を毎年2園民営化することだが、子どもにはお金をかけて欲しい。幼稚園を含めて区立でお願い</p>	<p>法律でも民間で出来ることになっている。民間でできるサービスは民間に委ねる方針である。保育の質については区で管理していきたい。</p>
<p>保育園のところでは、延長保育など親の利便性からサービスを考えているが、子どもの立場に立った視点がない。子どもの最良の環境があるべき、内容を検討してほしい。</p>	<p>今検討中の次世代育成行動計画では、保育サービスと家庭子育て支援など多様な希望に応えられる計画を考えている。長時間保育は子どもの負担になっているかもしれない。子どもを預けて働かなければならない人もいる。企業の育児休業制度などを進めるべき。一方、ひとり親など社会による子育て支援を必要とする人がいて保育サービスが大きくなっている。これらが両方あいまって方向を決め、進めていくべきと考える。</p>
<p>区立幼稚園は抽選なので入れない、やむを得ず私立園に入れている。他の区では複合施設により幼稚園、保育園、児童館など利用しやすいようだ、もっと施設間の壁をなくすべ</p>	<p>施設間のバリアの議論だが、現在は幼稚園と保育園の2つの制度がある。中野の子どもに対して同じようなサービスを同じような負担で提供していきたい。連携することについてもう少し明らかにしていきたい。</p>
<p>民間でできることは民間でというが、長所・短所を本当に調べたのか。例えば保育園を民営化すれば、利潤追求に走って、保育士の質が落ちたりアルバイトを多用したりする。そういうことを規制して、質を確保すべきではないか。区として果たすべき役割があるのではないか。</p>	<p>保育園を民営化するメリットは、勤務時間等で制約のある公務員でない保育士を活用することなどにより、柔軟で効率的な運営ができること。サービスの質の確保については、そもそも国や都の基準があって、公営も民営も、保育園の保育士の数は決まっているし、中野区ではさらに、これまで区立園で展開してきた人員を確保するように基準を定めている。サービスダウンさせないだけでなく、多様なサービスができることになる。区は、保育行政全体をどうするかについて、責任をもつ</p>

〔(仮称)高齢者いきいき会館〕

意見・質問	区の回答・見解
<p>(仮)新しい高齢者いきいき会館を見て、どこが新しくなっているのか分からない。</p>	<p>今後は介護予防を中心に地域に委託していきいき会館として活性化させていきたい。</p>

〔その他、施設について〕

意見・質問	区の回答・見解
資料2の「機能」とは何なのか。施設ではないのか。	機能でとらえることにより、どういうサービスをどういう手段で提供すべきか、また機能の組み合わせを考えて複合化が図れないかという検討が可能となる。よりよいサービスをより効率的におこなうにはどうしたらよいかを考えるため、まず機能でとらえたと理解してほしい。
施設の効率化について、一律にはしりすぎ、経費節減ばかりに目を向けないでほしい。高齢者が元気で長生きするためには、家の中に閉じこもらずに外へ出ることが大事。できれば町内に1か所施設がある位がよ	効率だけを追求すべきではないことはわかっている。これから先の人口構成比は明らかであり、高齢化社会を見越した計画を立てなければいけない。高齢者が地域の担い手になる社会を視野に入れた基本構想にしていきたい。

その他

意見・質問	区の回答・見解
資料を意見交換会の場でもらって、すぐ意見をいうのは、難しい。意見交換会の前に資料をもらいたい。	今回から、事前に地域センターで入手できるようにしたが、PR不足で申し訳なかった。次回の検討素材NO.4については、事前配布及びその周知に配慮したい。ご意見はこの場でのみお受けするものではない。手紙や電話、メールにてご意見をいただければと思う。また、各団体との意見交換も、随時おこなっている。そういった場を通じて、ご意見いただければとも考えている。